平成 29 年 1 月 1 日発行 (毎月 1 回) Vol.28 No.10

誠美だより

1
2017/JAN
誠美保育園

彼の名は。

明けましておめでとうございます。

年末から年始にかけて冬晴れが続き、日中は暖かく、穏やかで気持ちの良いお正月でした。

年末の餅つきでは、子どもたちが鏡餅を作っていました。今年度は、餅つきの日程を数年ぶりに1月から12月に戻したおかげで、久方ぶりに本物を鏡餅が飾ることができました（ホール掲示板下にお供えしています。）。

鏡餅は、元々はお正月にやって来る歳神様へのお供え物です。しかし、歳神様は、決してお餅を目当てにやって来るような、ただの食いしん坊ではありません。なので、歳神様を迎え入れるためには、園周辺で迷って、三徳やマツキヨあたりに入ってしまわないよう、玄関に目印（依り代）を付けておく必要があります。それが門松。当園では、少し簡略化した松飾りを正門に飾っていますのでバッチリです。

ここまで準備しておけば、初日の出と共に歳神様が来園し、そのまま鏡餅に宿ると言われていますので…今年の餅なら尚のこと完璧です。

そしてまさに今、ホールの鏡餅の中に、そのお方を捕獲…いえ、御休みされているはずなので、くれぐれも大声で話しかけたり、揺すったり、叩いたりはせず、そっとしておいてあげてください。優しくなでるくらいなら、案外喜ぶかもしれません。

さて、こうしてお越しいただいた歳神様なのですが、三が日も明けると保育も始まり、私たちも何かと忙しい…もう十分に…と、これ見よがしに松飾り、鏡餅など正月飾りを片付け始めるのが1月7日（関東では）。12月13日に始まった「松の内＝歳神様へのおもてなし期間」がようやく明けます。

そして1月11日は、鏡餅を木槌で叩き割る鏡開き。無病息災を祈願して歳神様が宿るそのお餅を頂くのが習わし。（残念ながら、園では衛生管理上、割るだけです。歳神様ごめんなさい…清潔…いや神聖なくらいのお方なのに。）

一方、松飾りはあまり気にせずにゴミ

箱に…というわけにはいきません。神聖な依り代は、1月15日の「どんど焼き」で炊き上げてもらうため、当園の場合、小山内裏公園へと持参します。

こうした年末年始の習慣にも、それぞれに意味があり、それを繋ぐストーリーがあります。こだわれば、まだまだ細かな作法はあるのでしょうが、少なくとも園内での歳神物語は、年明け前に餅がつき上がらないと話が動き出さない…これが12月に餅つきを戻した理由です。

何もそこまで…と言ってしまえばそれまでなのですが、それが「文化」というものではないでしょうか。

特に信心深くもない私でさえ、歳神様なんてと否定したくとも、畏れのような期待のような、それに抱く、いかんとも形容しがたい奇妙な感情は拭いきれません。こうした感覚は、誰かに教えてもらったというよりも、見えもしない神様を、大の大人たちが真面目な顔で、手間暇惜しまずに、おもてなしする姿を見ていくうちに、何となく身についたもののような気がします。

つまり、そこにいる大人たちの行動、生活する姿、生きる姿を通して、自然に「漂って」いく（しまう）ものが、文化なのではないでしょうか。なので誤魔化しようもありません。そして、子どもたちは、それを深く吸い込み、全身に行き渡らせながら育っていき（しまい）ます。

さらに、見えないものが存在するかのように振る舞うその様子は、まるで日本国中で脈々と受け継げれて来た、壮大な「見立て遊び」のようでもあります。

「かみさま、ここにいること…ね。」

こんな「神様ごっこ」?も、真剣にやり続けていると、建築物や装飾品といった様々な様式美、美術、加工技術などが、次々と生み出されていくものなのですね。「想像」は、「創造」の源であることを実感します。

歳神様と正月飾り、いつの日か、お子さんが興味を持つ日が来た時に、ぜひご家庭でも、何度でも話をしてあげてください。これは絵本の世界に勝るとも劣らない、偉大なるファンタジーです。

科学的、統計的、効率的…現代社会の信仰に少々押され気味な、不確かで曖昧で要領を得ないもの…これも大事にしたい「豊かさ」の一つだと思うのです。

家庭の文化、そして園の文化、今年も一緒に育ててください。

園長　折井誠司

カレンダー	
1月	10（火）発育測定 (012)
	11（水）発育測定 (K)
	15（日）餅つき会 (地域)
	17（火）防災訓練
	19（木）誕生会
	26（木）乳児健診

●編　集　誠美保育園
●編集人　折井 誠司
●発行人　折井 誠司
●印刷所　誠美保育園
発行所　社会福祉法人 誠美福祉会
〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-12
電話 042-675-1551
ファックス 042-677-5643
E-mail seibi@hoikuen.jp
http://hoikuen.jp/